

レジメン名 : mFOLFOX6+BV(5mg/kg) 2週毎(ポンプ)

疾患名 : 大腸がん

投与間隔 (1コース期間) : 14日間

総コース数 : PDになるまで

特記事項 :

投与 順序	レジメン内容 (医薬品名)	投与量	単位 (mg/m <sup>2</sup> , V等)	投与方法 (手技)	投与時間 (速度等)	投与日 (Day1等)	備考 (内服薬の用法等)
Rp. 1	生食100mL	1	瓶	点滴静注・メイン	15分	Day1	ルート確保用
2	ハロプロトン点滴静注バッグ 0.75mg	1	袋	点滴静注・ メイン	15分	Day1	
	デキサート6.6mg	1	瓶				
	デキサート1.65mg	2	管				
3	ペバシズマブ	5	mg/kg	点滴静注・ メイン		Day1	初回90分、2回目60分、 3回目以降30分まで短縮可
	生理食塩液 100mL	1	本				
4	5%ブドウ糖 250mL	1	袋	点滴静注・ メイン	2時間	Day1	オキサリプラチンと同時に 2時間で投与
	レボホリナート	200	mg/m <sup>2</sup>				
5	オキサリプラチン	85	mg/m <sup>2</sup>	点滴静注・ 側管	2時間	Day1	レボホリナートと同時に 2時間で投与
	5%ブドウ糖 250mL	1	袋				
6	フルオロウラシル	400	mg/m <sup>2</sup>	点滴静注・ メイン	急速静注	Day1	レボホリナート終了後 全開で投与
	生食 50mL	1	本				
7	フルオロウラシル	2400	mg/m <sup>2</sup>	インヒューサー ポンプ	46時間	Day1	ホーラスのフルオロウラシル終了後 46時間で投与 全量140mLとする
	生食 100mL	1	本				
8	生食シリンジ20mL	1	本	点滴静注・メイン		Day3	持続のフルオロウラシル終了後使用、フ ラッシュ用

減量基準

減量規定 (副作用名等)	減量条件 (検査値等)	抗癌剤名	減量割合等 (減量後の割合又は投与量)
好中球減少	500/mm <sup>3</sup> 未満	オキサリプラチンを65mg/m <sup>2</sup> に減量 5-FUを20%減量(ホーラス、持続ともに)	
血小板減少	50000/mm <sup>3</sup> 未満		
t-Bil上昇	5mg/dL以上	5-FU	投与中止

参考文献

- ①大腸癌治療ガイドライン 医師用 2019年版
- ②制吐薬適正使用ガイドライン2015年10月(第2版)
- ③改訂第6版がん化学療法レジメンハンドブック